

埼玉民主 フォーラム 県議会議員 木村イサオ

南区版

ACTIVITY
REPORT

活動報告

一般質問特集号(埼玉うどん)

県議会レポート

編集・発行

埼玉県議会 埼玉民主フォーラム

さいたま市南区支部

〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

東のうどん県を目指したうどん振興について ～木村イサオの一般質問より～

このところ、埼玉のうどんが盛り上がっています。香川県に次いで全国2位の生産量の埼玉うどん。観光の起爆剤として注目しています。本日は、木村イサオの議会活動の報告として、先日の一般質問の一部をお届け致します。

○東のうどん県を目指したうどん振興について

埼玉県民が盛り上がるための仕掛けと広報戦略について

埼玉県を東のうどん県にするための仕掛けを

Q 木村勇夫 議員(民主フォーラム)

過去にも埼玉のうどんを観光資源にという観点から、埼玉のうどんの可能性について質問した。埼玉のうどんはおいしいのは当然で、それ以外に地域性があり、他の都道府県には見られない特色がある。それは十分観光資源になるポテンシャルを持っている。香川県出身の私だが、是非とも東のうどん県を目指して、食が引っ張る観光へとつなげていただきたい。

今後は、埼玉県でうどんを食べることをレジャーにする新しい総合的な仕掛けと広報戦略が必要で、それを総合的に仕掛けていくことが県の役割だと思う。

先日、埼玉を日本一の「うどん県」にする会の永谷会長にお話を伺った。計算上では埼玉県民が1か月にプラ

うどん2食で日本一になれるとのこと。しかし、数だけ



ではなく、県民ムーブメントとしての仕掛けが重要。そこで伺う。

埼玉県を東のうどん県にしていくためには、まずは埼玉県民が盛り上がるための仕掛け、例えば県内の御当地うどんを集めた埼玉県内うどんサミットなどの開催や、香川県とコラボしたイベントなどが考えられるが、県民が盛り上がるための仕掛けについて、産業労働部長の見解を伺う。

(裏面へ)

木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)

1967年6月20日生まれ 57歳 ひつじ年

香川県立高松高等学校

早稲田大学政治経済学部卒業

小沢一郎政治塾3期生

大型クレーンの熱血営業マン

衆議院議員高山さとし公設第一秘書

宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者

現在:埼玉県議会議員として、(5期目)

埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

●常任委員会 産業労働企業委員

●特別委員会 危機管理・大規模災害対策特別委員
議会運営委員



営業マンから政治の道へ～木村イサオのイサオログ～

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

●連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-1-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail : web-kimura@goo.jp URL : http://www.pwdd.net/i-kimura/

(表面より)

**A 板東博之 産業労働部長**

香川県では県民がうどんを頻繁に食べるとともに、早朝から開店するうどん店があるなど、うどん文化が日常生活の一部となっている。讃岐うどんというブランドが広く国内に浸透している香川県に対し、埼玉県は「熊谷うどん」、「加須うどん」、「煮ぼうとう」など地域ごとに多彩なうどんがあることが特色。埼玉県のうどんを観光資源として生かすための取組の方向性は2つあると考えている。一つは、うどんと地域の観光とを結び付け、各地域の魅力を彩る観光資源の一つとしてうどんをPRしていく取組。もう一つは、埼玉県の特徴である多彩なうどんと埼玉県の交通アクセスの良さを生かし、県内外からうどん好きを呼び込む取組。うどん好きを埼玉県に呼び込むためには、県内外へ埼玉のうどんの魅力を発信するとともに、地元の方々の熱意や取組が不可欠。今後も、埼玉のうどんを埼玉の観光資源としてしっかり根付かせるよう工夫をしながら取り組んでいく。

-埼玉うどんの広報戦略を

**Q 木村勇夫 議員(民主フォーラム)**

仕掛けと同様に、広報戦略も重要。「ヒューマングルメンタリー オモウマイ店」という人気番組がある。その番組はグルメ番組というよりヒューマンドラマ、お店に関わるストーリー性のある取組を発掘し放送することで人気になっている。埼玉県のうどんに関しても同様に、ストーリーのある情報を発掘してメディアに提供していくことが重要だ。民間で活動している人や団体、また地元の有名人でインフルエンサーを活用するなど、産業労働部と県民生活部がタッグを組んだ広報戦略が重要だと考えるが、産業労働部と連携した広報戦略について、県民生活部長の見解と取組を伺う。

**A 真砂和敏 県民生活部長**

埼玉のうどんは、バラエティに富んでおり、大きな魅力の一つと考えている。各地のうどんの魅力を県内外に発信していくことは、本県の観光振興にとっても大変重要であり、事業の仕掛けと広報との連携は密接不可分と言える。このため、産業労働部が行う「うどんを観光資源として生かすための取組」を踏まえながら、戦略的に広報を展開していく。例えば、番組への売り込みをはじめ、県の広報紙「彩の国だより」で「うどん」特集を組んでみたり、広報テレビ番組やSNSの活用など

様々なメディアを効果的に組み合わせる情報の発信を行っていく。その際、本県にゆかりがあり、強い情報発信力を持つインフルエンサーの活用も検討する。「うどん」をテーマに埼玉が盛り上がるよう、産業労働部としっかりと連携を図り、戦略的な広報に取り組んでいく。

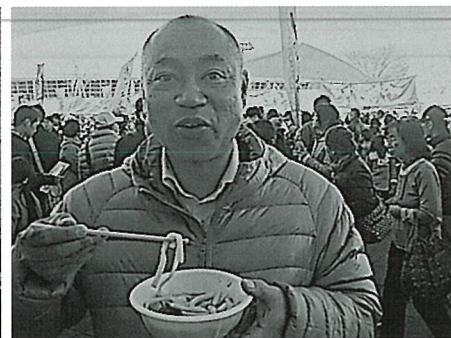
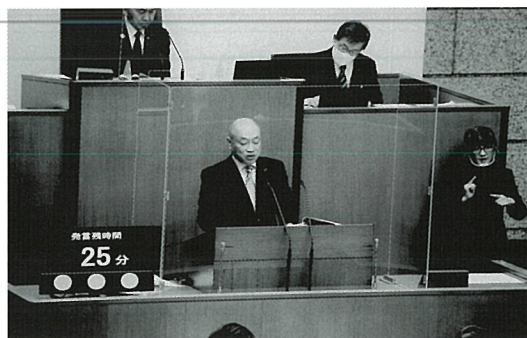
- 障がい者の就労支援としてのうどんについて
障がい者の就労支援としてうどんを活用すべき

**Q 木村勇夫 議員(民主フォーラム)**

うどんの生地を作るための足による踏み込みなどは、規則正しい動きを必要とするため、障がい者に向いているという意見もある。現在、埼玉県内のB型事業所では、少なくとも11事業所でうどんの製造販売が行われている。ぶこつなことが売りで太さも太い「武蔵野うどん」、東のうどん県を目指す本県にとっても、正にぴったりな取組だと考える。そこで、障がい者の就労支援の一つに埼玉のうどんの製造を取り入れ、製麺屋、コラボするなど成功モデルをつくって県内に広めていくべきと考えるが、福祉部長の見解を伺う。

**A 山崎達也 福祉部長**

現在、企業への就職が困難な方に、働く機会の提供と訓練を行っている就労継続支援B型事業所において、うどんづくりを取り入れている事業所は県内で11か所ある。事業所のお話を伺うと、うどんづくりは、工程が細分化され多くの障害者が関われる、また、うどんの生地を作るための足踏みや手でこねる反復作業に障害者が楽しみながら集中して取り組めるとのこと。こうしたことから、うどんの生産が盛んな埼玉県において、障害者の就労支援にうどんづくりを取り入れることは、安定した収入と就労の拡大につながる可能性を秘めているものと思われる。社会福祉法人皆の郷が運営する第2川越いもの子事業所では、「小江戸うどん」の名称で、当初は店頭で半生麺の製造販売を行っていたが、市民の評判を呼び、最近ではキッチンカーでの出店も行われ、就労の拡大に結び付いている。こうした、うどんを活用した成功モデルがつかれるよう取り組み、障害者の方が自らの適性と能力を発揮し、1人でも多くの方が就労につながるよう支援していく。



埼玉民主 フォーラム 県議会議員 木村イサオ

ACTIVITY REPORT

活動報告

南区版

2025年(令和7年) 年始版

県議会レポート

編集・発行
埼玉県議会 埼玉民主フォーラム
さいたま市南区支部
〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-101
TEL&FAX. 048-861-1368

2025年がスタート。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。
今年も、県議会議員として、皆さまのお約束を果たすべく、日々活動してまいります。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、12月定例会県議会は、12月2日に招集され、12月20日に閉会し、知事から提案された補正予算案や条例改正案など計62議案を可決・認定・同意しました。

以下、12月定例会県議会の主な内容です。

○補正予算の総額は、約9.6億円

今議会当初に提案された9.6億円の補正予算案の主な内容は、防災拠点校(全36校)のうち10校の体育館の空調設備(エアコン)の設置設計費等です。これにより大規模災害発生時の長期避難生活においても、熱中症等の健康被害を防ぎ、安心・安全な避難環境を確保することが可能となります。

*防災拠点校とは、備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置などを備えた県立高校です。全ての防災拠点校に自家発電装置を整備されており、停電時でも空調稼働が可能です。全校の空調設備の工事は2026年度末までに完了する予定です。

その他、公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保などを目的とした予算も可決しました。

○条例案

バスポート発給手数料や、運転免許証とマイナンバーカードの一体化(マイナ免許証)に係る手数料の改正条例案も可決しました。

また、議員提出条例として、「中小企業融資制度の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例案」や「拉致問題などの早期解決に向けた施策の推進に関する条例案」などを議決しました。

○水道料金改定

県が市町に卸す水道料金(県水)の額を1立方メートル当たり61円78銭から74円74銭に改定する議案も可決しました。施行期日は、26年4月1日となります。

また令和5年度の埼玉県の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算についても認定しました。

昨年は、元日の能登半島地震から始まり、災害の多い一年でした。今年は災害対応をはじめ物価高対策等、生活を守るために働いてまいります。地域のことや生活のことなどでご相談があれば、遠慮なくなんでもご相談ください。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 57歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(5期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

- 常任委員会 産業労働企業委員
- 特別委員会 危機管理・大規模災害対策特別委員

議会運営委員



営業マンから政治の道へ～木村イサオのイサオログ～

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

●連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail : web-kimura@goo.jp URL : http://www.pwdd.net/i-kimura/



1月
元日から能登半島地震という一年に。復旧・復興を願いつつ募金活動に。



5月
高齢者の免許更新の際必要となる高齢者講習センターが岩槻にオープンしました。



5月
路面電車 (LRT) の視察で宇都宮市に。コソバプロジェクトについて視察しました。



6月
県営大宮球場で行われた埼玉西武ライオンズ戦に。大宮スーパースタジアム構想に注目しています。



7月
地元の辻地区のお祭り。自治会副会長として子どもみこしを担当。



9月
県連幹事長として立憲民主党臨時大会で代表選挙に。10月の総選挙では県連幹事長として結果を出すことが出来ました。



10月
地元の辻地区の運動会。コロナ後、日常生活が戻って本当に良かったです。



10月
県内の要望を取りまとめた新年度の予算要望を大野知事に提出。



11月
県民の日の県庁オーブナード、沢沢栄一翁の新札発行もあり、大変な盛り上がりでした。



12月
クラブ・振興議員連盟に所属。昌平高校クラブ一部が県議会を訪問してくれました。



12月
県議会の「埼玉民主フォーラム」は11名の議員で構成。幹事長のお役を頂いて日々頑張っています。

県議会改革。埼玉

埼玉活性化宣言！

令和6年木村イサオの活動報告ダイジェスト。

今年もよろしくお願いします。

これからも「命を守る。」「生活を守る。」政策に取り組みます。

県議会改革！

埼玉県の医療・介護

地域防災力の強化

中小企業の活性化・安定した雇用

教育環境の充実！

マニション行政の充実！



9月
常任委員会では産業労働企業委員会に所属。川口の「産業技術総合センター」を訪問。

埼玉民主フォーラム 県議会議員 木村イサオ

ACTIVITY REPORT

活動報告

南区版

2025年(令和7年) 新年度号

県議会レポート

編集・発行
埼玉県議会 埼玉民主フォーラム
さいたま市南区支部
〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-101
TEL&FAX. 048-861-1368

2月定例県議会閉会。

2兆2308億円の令和7年度予算決まる。

埼玉県議会2月定例会は、2月19日に開会し、3月27日に閉会しました。今議会では、令和7年度の当初予算案を審議する予算特別委員会も開かれ、木村も予算委員として大野知事をはじめとする県執行部に質問致しました。県民生活や地域経済に直結する様々な施策について活発な議論が交わされ、特に予算特別委員会でも、私からは、八潮市道路陥没事故を契機に関心の高まる社会インフラの老朽化対策についてなどを質問致しました。

【令和7年度当初予算案の概要】

令和7年度の埼玉県の当初予算案は、一般会計総額として2兆2308億円が計上されました。主な重点施策として、以下のような事業が盛り込まれています。

- ・(労働力不足への対応)
- ・県内企業の人手不足対策として、Aを活用した就職マッチングシステムの強化
- ・若年層の雇用支援策の拡充として、インターンシップ制度の拡大
- ・「就職氷河期世代」向けの再就職支援プログラム
- ・(観光振興策の推進)
- ・埼玉県の地酒を活用した観光プロモーションの実施
- ・工場見学を中心とした観光資源の開発とツアー造成



- ・スポーツツーリズムの推進と地域活性化のためのイベント支援
- ・県内産品の販路拡大
- ・インフラ老朽化対策
- ・八潮市の道路陥没事故を受けた、インフラ老朽化調査の強化
- ・道路・橋梁の維持管理計画の見直しと補修事業の推進
- ・(カスタマーハラスメント対策)
- ・県内事業者向けのカスタマーハラスメント対策支援
- ・相談窓口の充実と事業者向けマニュアルの作成など

【木村イサオ、予算特別委員会での大野知事への質問】

○持続可能な下水道インフラについて
○老朽化したインフラの長寿命化について
○インフラ維持管理の再構築について

【おわりに】
今回の定例会では、新年度予算案を中心に、産業振興、雇用対策、インフラ整備など多岐にわたる議論が行われました。今後も県政の課題解決に向けて取り組んでまいります。

「意見・ご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。」

木村イサオ

県議会議員



木村イサオ プロフィール

木村 勇夫(きむら いさお)
1967年6月20日生まれ 57歳 ひつじ年
香川県立高松高等学校
早稲田大学政治経済学部卒業
小沢一郎政治塾3期生
大型クレーンの熱血営業マン
衆議院議員高山さとし公設第一秘書
宅地建物取引主任者 マンション・管理業務主任者
現在:埼玉県議会議員として、(5期目)
埼玉県を全国的に売り込むべく奮闘中!

- 常任委員会 県土都市整備委員
- 特別委員会 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員



営業マンから政治の道へ～木村イサオのイサオログ～

ブログ毎日更新中!!

木村イサオ で 検索

●連絡先 〒336-0022さいたま市南区白幡6-12-101
TEL&FAX. 048-861-1368

E-mail : web-kimura@goo.jp URL : http://www.pwdd.net/i-kimura/



1月
元日から能登半島地震という一年に。復旧・復興を願いつつ募金活動に。



5月
高齢者の免許更新の際に要となる高齢者講習センターが岩槻にオープンしました。



5月
路面電車 (ART) の視察で宇都宮市に。コナパトシテラについて視察しました。



6月
県営大宮球場で行われた埼玉西武ライオンズ戦に。大宮スーパースターボールパーク構想に注目しています。



7月
地元の辻地区のお祭り。自治会副会長として子どもみこしを担当。



9月
県連幹事長として立憲民主党臨時大会で代表選挙に。10月の総選挙では県連幹事長として結果を出すことが出来ました。



10月
地元の辻地区の運動会。コロナ後、日常生活が戻って本当に良かったです。



10月
県内の要望を取りまとめた新年度の予算要望を大野知事に提出。



11月
県民の日の県庁オープンデー、沢沢栄一翁の新刊発行もあり大変な盛り上がりでした。



12月
クラブ一振興議員連盟に所属。昌平高校クラブ一部が県議会を訪問してくれました。



12月
県議会の「埼玉民主フォーラム」は11名の議員で構成。幹事長のお役を頂いて日々頑張っています。



9月
常任委員会では産業労働企業委員会に所属。川口の「産業技術総合センター」を訪問。

県議会改革。

埼玉活性化宣言！

令和6年木村イサオの活動報告ダイジェスト。

今年もよろしくお願いします。

これからも「命を守る。」「生活を守る。」政策に取り組みます。

県議会改革！

埼玉県の医療・介護

地域防災力の強化

中小企業の活性化・安定した雇用

教育環境の充実！

マシヨン行政の充実！

県議会改革。